



本郷台小 だより

10 月

横浜市立本郷台小学校
令和8年9月30日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

みんなで創る運動会、みんなで支える地域

校長 廣瀬 美和子

記録的な長雨や大雨など、自然災害への備えの大切さを改めて感じる日々が続いています。10月は、前期の締めくくりと後期のスタートを迎える節目の月です。子どもたちには、これまでの学びや経験を自信につなげながら、新たな気持ちで後期の学校生活を充実させてほしいと願っています。

さて、今月は運動会が開催されます。今年の運動会スローガンは、「笑顔 協力 みんなで創ろう運動会」です。このスローガンには、一人ひとりが笑顔で取り組み、仲間と協力しながら、みんなで運動会を創り上げていこうという思いが込められています。

運動会を盛り上げるマスコットキャラクターとして、赤組の「梅太郎応援団」、白組の「翔け MILK マン」が選ばれました。子どもたちの豊かな発想から生まれたキャラクターには、それぞれの組への愛着や応援の気持ちが込められています。キャラクター発表の放送が流れると、各教室から歓声が聞こえ、運動会に向けた期待感が一層高まっている様子が伝わってきました。

運動会の練習の中では、高学年が下級生をリードする姿や、友達同士で励まし合う姿が見られ、子どもたちの協力する力や思いやりの心が育っていることを感じます。特に本校の伝統である「台小ソーラン」では、6年生が5年生に踊りや心構えを伝えながら指導にあたっています。技だけでなく、台小ソーランに込められた思いも受け継がれていく姿は大変頼もしく、本校の伝統が確かにつながっていることを実感しています。当日は、競技の結果だけでなく、仲間と支え合いながら挑戦する姿や、伝統をつなぐ子どもたちの成長した姿にもご注目いただければ幸いです。

一方、先日、地域防災拠点運営委員会において、地域防災 HUG 体験研修を実施しました。地域防災拠点運営委員の皆様を中心に、NPO 法人 311 ネットワークの皆様を講師としてお迎えし、本校が避難所となった場合の運営について学びました。研修を通して、災害時には子どもたちの安全確保を最優先にしながら、避難して来られた地域の皆様を円滑に受け入れるために、子どもたちと地域の皆様それぞれの動きを想定した動線づくりが重要であることを学びました。また、受付や本部、救援物資の保管場所、要配慮者スペースなどの配置についても事前に検討しておくことで、より安心して過ごせる避難所運営につながることを実感しました。さらに、地域の皆様と顔の見える関係を築き、学校と地域が協力しながら備えを進めていくことの大切さについても改めて考える機会となりました。

災害はいつ発生するかわかりません。だからこそ、いざというときに子どもたちと地域の皆様の安全を守るよう、今後も地域防災拠点運営委員の皆様と情報を共有しながら、学校と地域が力を合わせて備えを進めてまいりたいと考えています。

後期も保護者・地域の皆様と力を合わせながら、子どもたちの健やかな成長を見守り、支えてまいります。引き続き、温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。